

事業概要表（草の根協力支援型）

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	スリランカ民主社会主義共和国
2. 事業名	紅茶プランテーション農園における青年層を活用した学童補習活性化
3. 事業の背景と必要性	スリランカの紅茶プランテーション農園に居住するエステート・タミルの子供たちは、質・量とも教育インフラが脆弱であり、結果的に農園の子供たちは不利な状況におかれている。農園の子供たちが質の良い教育を受けるようになるには、農園内の限られた資源で、自分たちでできることから教育の質の向上を図ることが重要である。具体的には、農園の青年層が児童向けの学童補習運営に関わり、子供たちの学童補習に通う習慣づけを支援する。
4. プロジェクト目標	ヌワラエリヤ県の紅茶プランテーション農園の子どもが、青年層が実施する放課後活動や社交行事を通じ、質の高い教育環境を得る。
5. 対象地域及び管轄する領事館	中央州ヌワラエリヤ県ハットン・ディコヤ地域の紅茶プランテーション農園 3 か所 (3 Tea plantation ares of Hatton-Dickoya, Nuwara Eliya District, Central Province (Tillari, Darawalla, Ingestry))、在インド日本国大使館
6. 本事業の対象となる人々	ヌワラエリヤ県ハットン・ディコヤ地域の紅茶プランテーション農園 3 箇所に居住する児童 90 人 (30 人×3 農園) および同青年層 60 人 (20 人×3 農園)
7. 事業活動	<p><活動></p> <p>1-1. 農園内の青年層で子供への指導を希望する者を募集・選定する。</p> <p>1-2. 農園内の教育環境についてのベースライン調査を実施する。</p> <p>1-3. 参加型調査及び参加型モニタリング・評価手法についての研修を行う。</p> <p>1-4. 基礎的な英語の教育及び算数の再教育を行う。</p> <p>1-5. 放課後プログラムの実施方法についての研修を行う。</p> <p>2-1. 放課後プログラムを3つの地区で実施する。</p> <p>2-2. 子供向けのコミュニティーイベントを企画・実施する。</p> <p>2-3. 実施したプログラム及びイベントのモニタリング・評価する。</p> <p>2-4. モニタリング・評価結果を踏まえ、プログラムやイベントの内容及び方法を改善する。</p> <p>3-1. 各学校長、教員、青年層及び現地 NGO 間で定期会合を実施する。</p> <p>3-2. 定期会合で決定した事項を放課後プログラムやコミュニティーイベントに反映させる。</p>
8. 実施期間	2018年2月～2022年1月（3年11ヵ月）
9. 事業費概算額	11,062千円
10. 事業の実施体制	国立大学法人宇都宮大学国際学部が同大学農学部と協力して活動する。スリランカ側は現地 NGO による日常的な支援を行い、宇都宮大学と共同で中央州教育局に活動状況を報告する。
II. 提案団体の概要	
1. 団体名	国立大学法人宇都宮大学国際学部
2. 活動内容	国際学部・農学部連携国際協力人材育成プログラムを実施しており、2015年度にはスリランカでの海外研修を実施した。佐野高校と高大連携授業を実施しており、スリランカの紅茶農園と日本の消費者のテーマで今後も実施していく予定。